



平成 27 年 11 月 5 日

各 位

会社名 トピー工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤井 康雄
(コード：7231 東・名証第 1 部)
問合せ先 執行役員総務部長 山口 政幸
(TEL. 03-3493-0777)

中国生産拠点の集約等に伴う特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、自動車・産業機械部品事業の収益力向上を図るため、中国における生産拠点の集約等による構造改革の実行を決定したことに伴い、平成 28 年 3 月期第 2 四半期決算において、特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 建機用足回り部品の生産拠点の集約

(1) 集約の理由

当社は、拡大する中国の建設機械需要を捕捉するため、平成 14 年に青島トピー機械有限公司（以下「青島トピー」）を、平成 23 年にトピー履帯（中国）有限公司（以下「トピー履帯中国」）を設立し、中国における建機用足回り部品の供給能力を増強してまいりました。しかし、中国経済の成長鈍化等による急激な需要減少の影響を受け、人員の適正化や両社の一体運営等のコスト改善に取り組む中、短期的な需要回復が見通せないことから、抜本的な固定費の削減を目的として、青島トピーの事業を休止し、トピー履帯中国に集約することといたしました。

トピー履帯中国につきましては、今後の見通し等を勘案し、健全性の観点から同社の事業用資産について減損処理を実施した上で、さらなるコスト改善と建機メーカーのニーズに柔軟に対応する生産体制の確立を図り、グループの総力を挙げて収益力の向上に取り組んでまいります。

(2) 当該連結子会社の概要

| | |
|-----------------|--|
| 名 称 | 青島トピー機械有限公司 |
| 所 在 地 | 中華人民共和国青島経済技術開発区開拓路 177 号 |
| 代 表 者 の 役 職 氏 名 | 董事長 木下 浩幸 |
| 事 業 内 容 | 建設機械足回り部品の製造、販売 |
| 資 本 金 | 60 百万人民元 |
| 設 立 年 月 | 平成 14 年 10 月 |
| 出 資 比 率 | 当社 85% トピー実業株式会社 10% 小松（中国）投資有限公司 5% |

| | |
|----------|----------------------------|
| 名 称 | トピー履帯（中国）有限公司 |
| 所 在 地 | 中華人民共和国青島高新技术産業開発区科韻路 91 号 |
| 代表者の役職氏名 | 董事長 木下 浩幸 |
| 事業内容 | 建設機械足回り部品の製造、販売 |
| 資本金 | 491 百万人民元 |
| 設立年月 | 平成 23 年 8 月 |
| 出資比率 | 当社 100% |

2. 鉦山向け超大型ホイールの部品生産子会社の解散

(1) 解散の理由

当社は、拡大する鉦山機械需要に対応し、鉦山向け超大型ホイールの供給能力の拡大及び部品調達
の多様化を図るため、平成 24 年に天津トピー機械有限公司（以下「天津トピー」）を設立いたしま
した。しかし、鉦山開発の縮小による急激な需要減少の影響を受け、人員の最小化等のコスト改善に
取り組む中、今後の需要見通し等を勘案し、当社グループにおける生産体制を総合的に検討した結果、
天津トピーを解散することといたしました。

今後は、鉦山向け超大型ホイールの部品生産から組立てを綾瀬製造所に集約し、コスト改善を強力
に推進するとともに、他社の追随を許さない技術力のさらなる向上を図り、収益基盤の強化に組み
込んでまいります。

(2) 当該連結子会社の概要

| | |
|----------|----------------------------------|
| 名 称 | 天津トピー機械有限公司 |
| 所 在 地 | 中華人民共和国天津市西青经济技术開發区賽達三大道五支路 28 号 |
| 代表者の役職氏名 | 董事長 木嶋 伸一 |
| 事業内容 | 鉦山向け超大型ホイール部品の製造、販売 |
| 資本金 | 103 百万人民元 |
| 設立年月 | 平成 24 年 5 月 |
| 出資比率 | 当社 100% |
| 清算結了 | 平成 28 年 3 月（予定） |

3. 特別損失の計上

平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結決算において、トピー履帯中国の収益性低下に伴う減損損失ならび
に青島トピーの休止及び天津トピーの解散に伴う損失の事業再編損約 52 億円、個別決算において、ト
ピー履帯中国の減損処理に伴う関係会社出資金評価損約 28 億円を特別損失として計上いたしました。

また、通期連結決算においては、天津トピーの清算結了に伴う為替換算調整勘定取崩益等による約 7
億円を相殺した事業再編損約 45 億円、個別決算においては、天津トピーの解散に伴う関係会社出資金
評価損等約 6 億円を加えた約 34 億円を特別損失として計上する見込みです。

なお、関係会社出資金評価損は、連結決算上は消去されます。

4. 業績に与える影響

本件の影響を織り込んだ当期の業績予想につきましては、本日発表の「第 2 四半期業績予想と実績値
との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

なお、上記は、本資料の発行日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際は、今
後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上